



# 今年も手足口病が流行しています！

## 「<sup>てあしくちびょう</sup>手足口病」ってどんな病気？

### 【年齢は？】

乳幼児に多い、夏に流行する病気です。大人もかかることがあります。

### 【症状は？】

潜伏期間は3～5日で、一般的に、軽い発熱のあと、手足や口の粘膜に発疹が出るのが特徴です。約2/3の人では発熱がありません。

### 【治療は？】

この病気に対する特別な治療はありません。症状が強いときには、症状をやわらげる治療を行います。

### 【今年の特徴】

今年は横浜で16年ぶりの大流行となっています。なお、今年の手足口病は、普通はあまり見られない高熱や、水疱を伴った発疹が通常より広く出るタイプが報告されています。

### 【家庭で気をつけること】

ほとんどは1週間程度で自然に治りますが、ごくまれに髄膜炎、脳炎などの合併症が生ずることもあります。**元気がない、頭痛、吐く、高熱、2日以上続く発熱がある**場合には、速やかに医師の診察を受けてください。

### 【お子様がこの病気になったら】



口の中を痛がって食べ物を受け付けないことがありますので、味の濃いもの（特に酸味や塩味など）や刺激物は避けて、あまり噛まずに食べられる消化のよいものを与えてください。脱水にも気をつけましょう。少量でもよいのでこまめに水分を与えてください。



学校伝染病ではありませんが、登校や登園については主治医に相談したほうがよいでしょう。

### 【予防のためには】



手足口病はせきをしたときのしぶきや便などから感染します。予防接種はありませんので、最も重要で効果的な予防法は手洗いです。また、感染力は症状があるときが最も強いですが、患者の便からのウイルス排泄は3～5週間も続きます。特に小さいお子様の場合は、おしめを替えた後の手洗いをしっかり行うことが重要です。